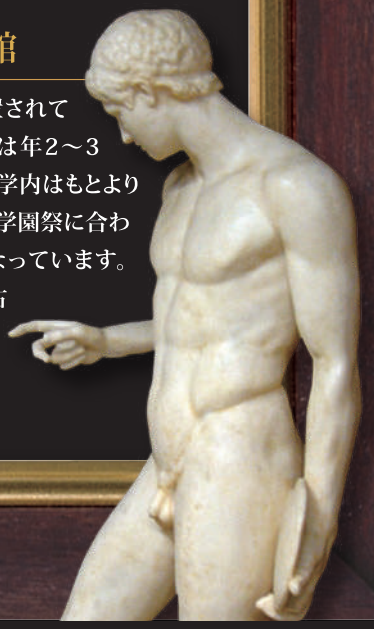




文学部博物館

文学部博物館

日進キャンパスに設置されている文学部博物館では年2～3回の展示会を企画し、学内はもとよりオープンキャンパスや学園祭に合わせて一般公開もおこなっています。2016年度は夏に「考古展2016」、秋に「追悼水木しげる展」を開催しました。



愛知学院大学 | 文学部・心身科学部 |

同窓会報

第37号
発行日
2017年1月15日

ご挨拶



文学部 新学部長
上田 恒雄 教授

社会に開かれた学部として 地域連携、産学連携を通して知の還元を行いたい

同窓会の皆様におかれましては、日々ご健勝のことと存じます。また、日頃から、私ども文学部へのご支援をいただき、感謝申し上げます。

さて文学部では宗教文化学科、歴史学科、英語英米文化学科(2015年度に名称変更)、日本文化学科、グローバル英語学科の個性豊かな5学科が開かれた大学を目指し知の還元を行うために、地域連携や産学連携を通して社会との繋がりを強化しながら、日々、学生教育に尽力しております。文学部の学生諸君にとっては、国内外の様々な分野でご活躍されている諸先輩の存在が、大きな刺激となり、励みとなるかと思えます。ただ、そうした同窓生の方々の姿や声が、現役学生に必ずしも十分に伝わっているわけではありません。HPや同窓会総会等を通じて、同窓生の皆様と現役学生との交流の場が広がればと思います。

今後とも、文学部の発展を暖かく見守っていただくとともに、引き続き様々な面でのご助力をいただければ幸いです。



心身科学部 学部長
千野 直仁 教授

心身科学部の近況報告と ご理解・ご支援のお願い

心身科学部は、2003年に発足以来15年の歳月が流れました。人に例えれば青年期を迎えたこととなります。

同学部を構成する心理学科、健康科学科、健康栄養学科は、それぞれ異なる学問領域の上に成り立っていますが、心と体に関する問題を扱うという点では共通の基盤に立脚しています。これまでの15年は、それぞれの学科がそれぞれの学科の基盤を固めるために必要な時間であったわけですが、今後はいわば3学科が互いに手を取り合って、成人期に向けて力強く前進するべき時期といえるでしょう。そのためには、我々教職員の一層の精進はいまでもありませんが、同窓生の皆様のそれぞれの分野でのご活躍と、同窓会への一層のご理解とご支援が不可欠と考えます。

なお、3学科の中では文学部時代からの歴史を持つ心理学科は、現在大きく生まれ変わろうとしています。それは、それまで懸案でありました公認心理師の国家資格化法案が2015年の秋に国会を通ったことにより、いよいよ本学心理学科も大学の理解を得て同資格の取得に向けて動きだしたからです。こちらにつきましても、同窓会の皆様のご理解とご支援をどうかよろしくお願い申し上げます。

歴史学科 中川すがね 教授

文学部歴史学科では平成27年度に引き続き28年も、9～10月の土曜午後には4回連続の公開講演会「土曜セミナー」を開催しました(日進キャンパス)。

愛知学院大学の歴史学科は多数の卒業生を輩出している伝統ある史学系の学科ですが、その現在を教員自身の声で社会に発信し、地域の方々や未来を担う若者との交流の場にしたいというのが私たち歴史学科教員の願いです。

今年は大学周辺や名古屋市から多数の参加があり、質疑応答も活発で有意義なセミナーになりました。同窓会には多大なご協力を賜り、特に今年度は卒業生の一部にもご案内を差し上げたこともあって、なつかしい出会いがありました。御礼申し上げます。



発掘成果をパワーポイントでわかりやすく説明する白石 浩之 教授



トルココーヒーを題材に日本と中東の交流を説明する松井 真子 准教授

心身科学部の学生26名が 東北でボランティア活動

大島新奈さん／小島汐李さん／畑みなみさん
(心身科学部 健康科学科4年)

2016年2月26日～29日、心身科学部健康科学科の有志26名が宮城県気仙沼市・南三陸町でボランティア活動を行い、同窓会はこの活動を支援した。参加した学生3人に話を聞いた。

ボランティア初日は気仙沼市の仮設住宅2か所で住民30名程にアロマハンドトリートメントを行った。会話をしながらの約10分間の施術は、多くの方から「手が温かくなった」「心が軽くなった」と喜ばれた。翌日は気仙沼市の消防本部を訪問、震災当時、救命活動にあたった方たちの話を聞くとともに、震災と同レベルの揺れや緊急時の119番対応などを体験した。また、南三陸町ではワカメの収穫作業を手伝った。震災時、職員が防災無線で住民に避難を呼びかけ続けた防災対策庁舎は、いまも赤い鉄骨だけの姿を残しており、間近で見た学生らは「津波の恐ろしさが胸に迫ってきた」と振り返る。



被災地の現状を知りたいとの思いから参加した3人は、「震災を忘れずに、継続した支援が必要」「日頃からの備えの大切さを実感した」「将来、養護教諭として災害時にどのように子供たちを守るのか、現実的な課題が見えてきた」と話す。この活動は今後も継続する予定であり、学生たちは自分たちができる支援を考え、準備を進めている。



伊勢志摩サミットで 外国語案内ボランティア

2016年5月26日～27日に開催された主要国首脳会議(伊勢志摩サミット)において、中尾萌里さんは中部国際空港で外国語案内ボランティアの一人として活躍した。サミットのゲートウェイとなる同空港には、伊勢志摩への交通案内と共に東海地域の魅力を発信する「おもてなしブース」が設置され、西尾抹茶試飲体験、からくり人形実演、小原和紙折り紙体験などが行われた。中尾さんは外国人記者らに英語での交通案内やブースへの誘導、展示品の紹介を行った。「先を急ぐ記者の方も多く、簡単な交通案内が多かったのですが、中には足をとめて日本の伝統文化に興味を示してくれる人もいました。英語での説明は難しかったのですが、精一杯おもてなしました」

5月23日～28日まで、ほぼ一日中立ちっぱなしの激務だったが、貴重な体験となったという。「国が違うとリアクションや感情表現も違い、文化的背景の違いがコミュニケーションに及ぼす影響に興味を覚えました。また、私自身、地元の伝統文化の実演に感動し、日本の良さを再発見しました」

ボランティアのきっかけは、2015年9月～12月に交換留学生としてオーストラリアのボンド大学に留学したことに遡

学生インタビュー

なかお もゆり
中尾 萌里 さん(心身科学部 心理学科4年)

る。この経験を買われて本学国際交流センターから参加を勧められた。「英語力には自信がありませんでしたが、こんなチャンスはなかなかありませんので、思い切ってやってみました」持って生まれたチャレンジ精神にオーストラリアでの体験も後押しした。ボンド大学には様々な国から留学生が集まっており、「多くの単語を知らなくても、伝えようとする意志があれば分かり合えることを学びました」と笑顔を見せる。

オーストラリアではもう一つのチャンスに出会った。留学中に指導を受けた馬術のコーチにその才能を認められ、ステップアップの道が拓かれたのだ。「先のことは分かりませんが、いま自分ができることを精一杯やってみたく思います」

あらゆる経験を将来への糧として、挑戦を続ける中尾さんの今後に注目したい。



第43回

愛知学院大学 文学部・心身科学部 同窓会

懇親会の報告

2016年6月12日(日) [名古屋東急ホテル]

今回も盛大に行われた定期総会・懇親会の様子をお伝えいたします。

定期総会の後に開催された恒例の東急ホテルでの懇親会。毎年参加されている方々も多い中、初参加の方からも場所も分かりやすく、料理もおいしく食べられると好評でした。

今年も学長先生はじめ各学科の先生、新任の先生方等たくさんの先生方にもご出席いただき、総勢433名の参加者となりました。

みな懐かしい同窓生との語らいに笑顔がたえない楽しい時間をすごしていました。



受付は現役学生がお手伝い

今回から名札を首から下げるタイプに変え、学科ごとに色分けしてみたところ世代を超えた交流も行われていました。

会も後半に差し掛かったところで毎年好評の抽選会、今回の商品は様々な金券。大いに盛り上がりました。

次回も東急ホテルでの開催です。皆様ぜひご出席いただけますようお願いいたします。



華やかに盛り上がりました



同級生が大勢集まりました



抽選に当たって笑顔の来賓と会員



恩師を囲んで

第43回 愛知学院大学 文学部・心身科学部 定期総会の報告

第43回 定期総会は下記のプログラムで催され、各議案を提議し、すべて承認されました。
ご出席いただいた皆様、ありがとうございました。

プログラム

1. 開会の辞
2. 議長選出
3. 平成27年度事業報告
4. 平成27年度会計決算報告
5. 平成27年度会計監査報告
6. 理事選出
7. 会長挨拶
8. 平成28年度事業計画(案)承認の件
9. 平成28年度会計予算(案)承認の件
10. その他
11. 閉会の辞

平成28年度 事業計画

- (1) 理事会の開催
 - 第1回理事会:平成28年5月28日(土) 17:00~20:00
 - 第2回理事会:日時未定
- (2) 常任理事会・各部会議の開催
 - 第1回常任理事会:平成28年4月 8日(金) 19:00~21:00
 - 第2回常任理事会:平成28年5月28日(土) 13:00~15:00
- (3) 第43回文学部・心身科学部同窓会定期総会・懇親会
 - 総会:平成28年6月12日(日) 10:30~
 - 懇親会:平成28年6月12日(日) 12:00~
- (4) 同窓会会報第37号の発行
- (5) 新会員向けに同窓会ハンドブックの発行
 - 平成29年3月文学部・心身科学部新会員への配布
- (6) 準会員(学生)への助成および支援
 - 奨学生、支援クラブ、卒業謝恩会等への助成
 - 特別奨学生(新規)への助成
 - 準会員と教員との親睦会への助成
- (7) 同級会等開催への助成
 - 通信費の負担および事務代行
- (8) 愛知学院大学同窓会連絡協議会への協力
- (9) 地方同窓会への助成
- (10) 愛知学院大学文学部および心身科学部への協力
- (11) その他、本会の目的を達成するために必要な事業

平成27年度 会計決算報告

(単位:円)

自:平成27年4月1日 至:平成28年3月31日

収入の部		支出の部	
科目	収入額	科目	支出額
前年度繰越金	255,313,688	連絡協議会費	300,000
入会金・会費	29,367,500	渉外費	0
受取利息	2,004,033	総会費	7,165,295
雑収入	522,125	会議費	444,287
		助成金	3,101,519
		奨学金	2,320,000
		印刷費	1,128,200
		通信費	1,245,540
		備品費	113,000
		人件費	3,252,756
		消耗品費	296,769
		旅費	513,480
		慶弔費	150,000
		雑費	65,832
		管理費	20,000
		育成費	1,010,000
		修繕費	44,280
		予備費	0
		事業積立金	1,000,000
		小計	22,170,958
		次年度繰越金	265,036,388
合計	287,207,346	合計	287,207,346

平成28年度 会計予算

(単位:円)

自:平成28年4月1日 至:平成29年3月31日

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	265,036,388	連絡協議会費	300,000
入会金・会費	29,000,000	渉外費	50,000
受取利息	2,000,000	総会費	8,000,000
雑収入	500,000	会議費	1,310,000
		助成金	5,200,000
		奨学金	6,800,000
		印刷費	1,700,000
		通信費	1,320,000
		備品費	200,000
		人件費	4,780,000
		消耗品費	460,000
		旅費	1,110,000
		慶弔費	400,000
		雑費	170,000
		管理費	300,000
		育成費	1,200,000
		修繕費	200,000
		予備費	500,000
		事業積立金	1,000,000
		小計	35,000,000
		次年度繰越金	261,536,388
合計	296,536,388	合計	296,536,388

財産目録

(単位:円)

平成28年3月31日現在

科目	摘要	金額
普通預金	三菱東京UFJ銀行今池支店 No.1515154	1,018,049
〃	三菱東京UFJ銀行今池支店 No.1512946	20,551,881
〃	三井住友信託銀行名古屋支店 No.1220067	160,125
定期預金	三菱東京UFJ銀行今池支店 No.1305932	30,000,000
貸付信託	三井住友信託銀行名古屋支店 No.39764921	10,000,000
国債		203,273,663
小計		265,003,718
事務室小口現金		32,670
合計		265,036,388

別途積立金

- 口座番号 三菱東京UFJ銀行 今池支店 定期預金 No. 3987155
- 口座名義 愛知学院大学文学部・心身科学部 同窓会周年事業積立
- 積立金額 12,266,239円

備品明細

備品名	数量	備品名	数量
事務室机	1	コンピューター机	1
応接セット	1	コンピューター&ディスプレイ	3
カウンター	2	カラー複合機	1
書架	2		

〈次回の同窓会・懇親会のお知らせ〉第44回 愛知学院大学 文学部・心身科学部同窓会 懇親会

平成29年6月11日(日)
名古屋東急ホテルで開催予定

- 11:00~ 総会開始
- 12:00~ 懇親会

4月下旬頃にご案内のハガキをお送りします。皆さん、お誘い合わせの上ご参加ください。詳しい内容は、決まり次第、ホームページに掲載いたします。そちらの方もぜひ、ご覧ください。

※総会・懇親会で係が撮影した写真を会報等に掲載する場合がありますので、ご了承ください。

毎年恒例の抽選会もあります!!何が当たるかはお楽しみ♡是非ご参加ください。

平成28年度 奨学生と支援クラブの紹介

奨学生

坂上 亜衣
(心身科学部 健康科学科4年)

小林 まゆり
(心身科学部 心理学科3年)

高野 夏姫
(文学部 歴史学科4年)

長屋 美咲
(文学部 歴史学科2年)

海内 貴樹
(大学院 心身科学研究科 心理学専攻2年)

柳谷 知海
(文学部 日本文化学科4年)

ヴェティ ヌフェ
(文学部 日本文化学科2年)

佐々 夏海
(文学部 グローバル英語学科3年)

呂 其俊
(大学院 文学研究科 宗教学仏教学専攻2年)

お礼のこたば

奨学生代表／心身科学部 健康科学科 坂上 亜衣

この度は、文学部・心身科学部同窓会奨学生に選んで頂きありがとうございます。

4年生となった今、生まれ育った富山県から出てきて愛知学院大学心身科学部健康科学科で学び、大学生活を送ることができて良かったと心から思っています。健康科学科では、医学や医療のこと、そしてあらゆる面から見た「健康」について深く学ぶことができました。また、健康科学科で出会った友だちや先生方と実際に身体を動かしたりと様々な講義を受けることができ、充実した時間を過ごすことができました。私は、これからも健康科学科で学んだ知識を活かしていきたいと思っています。

最後になりますが、今回、奨学生に選んで頂き、大変嬉しく思っています。この度は、本当にありがとうございました。

支援クラブ

サッカー部

この度は、クラブ支援金対象のクラブに、我々サッカー部を認定頂きまして誠にありがとうございました。

我が部は、文学部所属の5名、心身科学部所属の14名を含めた総勢90名強のメンバーで、年に4つある全国大会出場に向けて日々トレーニングに励んでいます。

活動内容としては、平日火曜日～金曜日をトレーニング、土日に公式戦を行う基本スケジュールで活動しています。

前期の成果として、4つの全国大会の一つである総理大臣杯に出場することができました。出場の際は、多くのご声援と激励を頂きました。また、頂いた支援金を交通費、宿泊費に充てさせて頂き、無事大会を終えることができました。ありがとうございました。結果は一回戦敗退となってしまいましたが、ゲーム内容としては後期に期待が持てる内容でしたので、出場の可能性のある残り2つの全国大会に向けて、しっかりトレーニングをして繋げていきたいと思います。

今回認定頂いた御厚意を励みに、また、その名に恥じぬようにこれからも一生懸命活動して参りますので、今後も変わらぬご支援よろしくお願い致します。



居合道部

愛知学院大学体育会居合道部は現在1回生13名、2回生9名、3回生7名、4回生5名計34名の部員で活動しています。年々歴史を刻み活動量を増やしています。

普段は平日授業日の朝の1限目に授業がない部員集まって稽古し、休日の14時からと平日の2限目は自主稽古に励んでいます。その結果、10月23日に行われた東海学生居合道選手権大会において、段外の部、初段の部、二段以上の部、団体の部と全ての部において各段の部員が優勝することができました。

しかし県外での大会は年に6回参加しますが、結果を残していないので、日々努力して稽古に励んでいます。部員数が年々増え、県外の大会もこの3年間で2つ増えた為、今回助成金を申請させていただきました。今回頂いた助成金は11月に京都で行われる全日本学生居合道大会に参加する為の交通費、またよりよい稽古を行うために必要な備品へと還元させていただきました。

今後は県内、県外共に結果を残し、さらに大きな部活動へと発展していけるように頑張っていきます。



特別奨学生の給付

平成28年度、新たに経済的理由により修学が困難な者を対象とした同窓会独自の特別奨学金の制度が設けられました。10月には、選考の結果、文学部5名、心身科学部3名の学生が採用されました。これらの学生には、同窓会から授業料の半期分相当額である35万円が給付されました。

同窓会ホームページのお知らせ

同窓会活動の最新情報はここでチェックできます。同級会開催の申請方法についてのご案内も載せていますので併せてご覧ください。同窓生のみなさんを結ぶ架橋となるべく、情報更新は随時行っています。来年度リニューアルの予定です。応援よろしくお願いたします!

<文学部・心身科学部同窓会ホームページ>
<http://www.agu.ac.jp/~agubundo/>



ここから同窓生のみなさんと繋がろう!

新任教員の紹介

PROFILE / ①最終学歴 ②就任直前の職歴 ③専門分野 ④趣味

文学部歴史学科 井上 瞳 准教授

- ①東京藝術大学美術学部芸術学科／ハーバード大学エクステンションスクール博物館学コース、サーティフィケート取得
- ②名古屋ポストン美術館学芸員／愛知県立芸術大学非常勤講師
- ③博物館学、日本美術史
- ④美術鑑賞、登山、旅行、寺社巡り



心身科学部心理学科 石田 光男 准教授

- ①愛知学院大学大学院文学研究科心理学専攻 博士(文学)
- ②至学館大学健康科学部健康スポーツ科学科・准教授
- ③心理生理学(認知と情動)、スポーツ心理学
- ④持久系競技(主にロードバイク)、野球



同級会だより

健康科学科 城戸ゼミ同窓会〈4月10日〉

平成28年4月10日、心身科学部健康科学科城戸ゼミ同窓会を開催しました。

卒業して2年目の春、彼女達は養護教諭、講師として、高等学校、中学校、小学校、特別支援学校、幼稚園等に配属となり、保健室という場所で日々、子どもの成長と健康と向き合い活躍しています。保健室の多くは、一人職場であり、またその場で、的確な判断が求められる現場です。日頃の保健室での取り組みや児童への対応、目指す学校保健の在り方、そして想いなど積極的な意見が交わされ、悩みながらも真摯に子どもに寄り添っている彼女達の様子が垣間見れるようでした。

桜の木の下で語り、そして花見を行い、学生時代と変わらない笑い声と会話に包まれました。満開の桜に負けないくらいの卒業生の笑顔があふれたその場所は、暖かく、まぶしい春の景色だった一日でした。



心理学科85P同期会〈6月12日〉

文学部同窓会からの二次会的な会にしたため、同期会の頃にはみなさん久しぶりの感じから、すっかり昔に戻り30年の時がぐっと縮まった雰囲気ではじめました。自己紹介から一人ひとり盛り上がり、もう大学生ののりでした。

あっという間の3時間、みなさん懐かしい話から今の話まで、おしゃべりが尽きないなか、閉会。お店もアジア料理の美味しいお店でした。懇親会の東急ホテルでの飲食後なのに…よく入るねという感じでした。

次回開催も楽しみに、またみんなに会うのを約束しました。

文学部昭和47年度生同窓会〈6月12日〉

平成27年に続き2回目の会となりました。というのも前回の時に、来年も開催して欲しい旨の要望が多数寄せられたからです。結果1回目の参加者は19名でしたが、今回は30名(当日欠席2名)の出席がありました。会は前回同様、お互いの近況を報告し合うのに終始しました。というのも我々の年齢が丁度リタイアの時期にさしかかっていますので切実です。会は4時間にも及び次回の再会を約束してお開きとしました。



健康科学科教員会〈8月17日〉

健康科学科の卒業生で教職の道に就いている方を対象に行いました。養護教諭と高等学校の教諭(保健体育)の実践報告を行い、ディスカッションをして内容を深めました。また、養護教諭と体育教諭に分かれて、現状を話し合いお互いの悩みや評価の仕方について考えました。

これからも同じ学科の縦と横の関係を深めていきたいです。

歴史学科1期生同窓会〈10月29日〉

卒業生119名のうち、出欠のがきが返ってきたのは47枚、そのうち最終的には21名の出席者となりました。

ご存命の恩師は橋本龍幸先生だけということで、橋本先生が出席されました。ホテルのご好意で卒業式当日の新聞の掲示や、当時流行していた曲も流していただきました。

記念写真撮影、挨拶、祝辞、乾杯に続き出席者が各自の近況を報告し、会は和やかに進みお開きとなりました。

毎年、同窓会事務局が6月に主催される懇親会には、1期生が必ず出席していますので、次回も是非参加してくださいと呼びかけて終了しました。



心理学科1979年卒業生同級会〈10月29日・30日〉

2016年に還暦を迎え、60歳の記念に同窓会を催しました。恩師伊藤法瑞先生をお迎えて33名の同窓会となりました。

それぞれが親の介護、孫の世話と多忙の中、せめて日帰りでの参加でもと駆けつけてくれた日帰り組もいて、大変楽しい同窓会となりました。食事前の懇親会では入学時からの懐かしい写真がプロジェクターに流れ、年月の流れを感じつつ爆笑でした。

二次会も皆の昔話に花が咲き、翌日は駒ヶ岳ロープウェイで千畳敷カールに登ったり、駒ヶ根観光をし旧交を温めました。またの再会を誓い解散いたしました。



健康栄養学科ホームカミングデー〈11月21日〉

参加した卒業生からは、学生に自分の職場での経験を伝えることで、学生が就職先を選ぶ際のきっかけになれば良いなと思いました。久々に先生方の顔を見て元気が出た、といった声を聞くことができました。

在学生からも、実際に医療機関で管理栄養士として働く先輩の話聞いて、私も先輩のように医療機関で管理栄養士として働きたいという気持ちがより強くなった、先輩から国家試験勉強や就職活動についての話を聞き、やる気が出た、という声を聞くことができました。

健康栄養学科は平成28年で創立9年目という歴史の浅い学科ですが、今後もさらなる発展のために在学生と卒業生が交流の持てる場を提供し、卒業生、在学生全員で健康栄養学科を盛り上げていきたいです。



同窓会事務局より

“同窓会はまだか!?な～んて待ってられない!!同窓会は自分で開いちゃおう” という方はこちらをご覧ください。

あなたも同級会を開きませんか? ～同級会を開く為の要項～

同窓会事務局では、会員による同級会等開催のお手伝いを行っています。

同級会等(同学科卒、同卒年、同ゼミ卒など)の開催をご希望の方は、同窓会事務局までお気軽にお電話、FAX、またはメールにてご連絡いただけますようお願いいたします。詳細が決まりましたら開催案内及び出欠連絡用の往復はがきの印刷及び発送をいたします。助成金の用意もありますので、是非ご検討願います。

地方同窓会の紹介

愛知学院大学関西同窓会 創立50周年記念総会 参加報告

平成28年9月4日(日)12時から、「ホテルモントレグラスミア大阪」にて、関西同窓会50周年記念総会が開催されました。50周年記念総会ということで、大学からの来賓である金森学長補佐、本同窓会を代表して文学部・心身科学部同窓会山田孝会長が祝辞を述べました。主催者側挨拶として、関西同窓会代表幹事山田晃生氏から、50年にわたる関西同窓会の歴史が語られ、会の運営の苦勞が偲ばれました。

会の佳境では、関西同窓会代表幹事・来賓による鏡開きが行なわれました。また、関西同窓会の功勞者として前代表幹事などに感謝状が送られ、50周年記念総会は盛況の内に終了しました。



第49回愛知学院大学山陰同窓会 参加報告

第49回山陰同窓会は平成28年10月15日、鳥根県出雲市のホテル武志山荘において開催されました。

今年度は来賓として大学から学長補佐の引田弘道文学部教授(大学理事・教務部長)、本部からは商経会1名、法学部1名、文学部心身科学部2名、歯学部1名、後援会1名、地方同窓会からは四国2名、広島1名、関西1名、関東1名、歯学部鳥取県支部1名、歯学部鳥根県支部1名が参加しました。

山陰地方同窓会代表幹事玉木正昭氏の挨拶で始まり、引田弘道文学部教授の挨拶、伊藤照夫法学部同窓会副会長の挨拶、来賓紹介と続きました。

参加者の年代も、昭和39年度(1964)卒から平成19年度卒(2007)までの幅広い同窓生が集まりました。約40名の出席者の内、文学部・心身科学部の出身者は4名でした。

和やかな雰囲気の中楽しい歓談のひと時をすごした後、来賓の方々も当選された抽選会があり、校歌斉唱の後散開となりました。

来年度は第50回となり、鳥取県米子市にある米子ワシントンホテルプラザにて行われます。



愛知学院大学関東同窓会 平成28年度懇親会 参加報告

平成28年10月22日(土)午後3時より、平成28年度関東同窓会懇親会が銀座5丁目の「三笠會館」にて開かれました。

大学・各学部同窓会・地方同窓会の来賓と卒業生の方々を合わせて全員で30名ほどの出席でした。日比野代表幹事の開会の辞に続き、学長補佐の経済学部長後藤俊明先生よりご挨拶をいただきました。2014年から名城公園キャンパスにビジネス系3学部が移動し、経済学部としては今年度初めての卒業生を出すことになることが報告されました。余語商経会会長による同窓会本部代表からの挨拶に続き、乾杯、歓談となり世代を超えた同窓生との語らいを多く持つことができました。会場全員での写真撮影、校歌斉唱、山陰同窓会代表幹事の玉木様の一本締めとなり、なごやかなうちに会は終了となりました。例年、本会からの出席者は少ないので来年度こそは多くの方にお集り頂きたいと思いをいたしました。



全員による校歌斉唱

愛知学院大学四国同窓会 第23回定期懇親会 参加報告

平成28年11月12日(土)18時30分から、リーガホテルゼスト高松にて、四国同窓会第23回定期懇親会が開催されました。

まず初めに全体の記念撮影がステージ前にて行われ、続いてテーブルを元に戻し懇親会が始まりました。冒頭、9月27日に急逝された事務局長 蓮井美知雄氏を偲び黙祷。その後中野代表幹事の挨拶に続き本学の図書館情報センター館長 二宮様からの来賓の挨拶の中では、同窓生が13万人であること、東海地方の社長の出身校別ランクでは愛知学院大学がトップであること(全国では20位)や、名城公園キャンパスの将来計画などのお話がありました。続いて同窓会を代表して歯学部同窓会副会長の野村様のご挨拶の後、乾杯となり、その後歓談へと続きました。

歓談の終盤には、記念撮影をした写真が早くも全員に配られ、その後の抽選会では、来賓、同窓生ともに大いに盛り上がりました。

来賓を含め出席数は35名のなごやかな和気あいあいの開催となりました。

最後に校歌斉唱の後散会となりましたが、有志で階下の会場にて2次会へと繰り出す様子はとても楽しそうでした。



愛知学院大学広島同窓会 第23回定期懇親会 参加報告

平成28年12月3日(土)18時30分から、「ホテルグランヴィア広島」にて、広島同窓会第23回懇親会が開催されました。

広島同窓会代表幹事山崎覚氏による開会挨拶では、広島カープのリーグ優勝により「広島が真っ赤に燃えている」と広島の様子が語られた。大学からの来賓である学長補佐の高木敬一先生からは、名城公園キャンパスのさらなる発展とディプロマ・ポリシーの作成に取り組んでいる様子が報告されました。さらに「今後の大学の発展には、同窓生の皆さんの活躍が必要です」と同窓生のさらなる活躍を期待されていました。

法学部同窓会長伊藤桂子氏により、乾杯が行われ懇親会が和やかに執り行われました。

また、川端事務局長による景品の抽選会があり、こちらも大いに盛り上がりました。

最後は、校歌を合唱し、記念写真を撮って終了しました。



前号『愛知学院大学文学部・心身科学部同窓会会報』第36号03ページの「ドライ・ラマ法王特別講演会」の記事につきまして、出典と主催者名が欠落しておりました。この記事につきましては、大学だよりに掲載された原稿を担当の庶務課より許可を頂いて転載しました。多くの方より指摘頂きありがとうございました。また、関係の皆様大変ご迷惑をおかけしましたことを心よりお詫び申し上げます。さらに、第36号の発行月日につきましても記載されていませんでした。本来でしたら、定期刊行物には発行年月日を記載することが必須と考えられます。この点につきましても本号より発行年月日を明記いたします。第36号の発行年月日は平成27年12月1日でした。